

シーン4

「お母さんたちは泊[↓]日の旅行に行った！ 今日から連休で[♡]日間休み！ 宿題とかやること全部昨日のうちに終わらせておいた！ だから……この触手通販スペシャルセット！」「日まるまる触手オナニーを楽しめるやつ！！ めいいっぱい気持ちいい触手オナニー楽しむんだー！！！！」

「はあ、はあ……ちょ、ちょっと一人でテンション上がった……でも、お年玉とバイト代、今まで貯めたポイント全部、つぎ込んでやっと思えたこのセット、年一回ぐらいしか楽しめないの……ふふふ、どんなだろう……説明には触手の気持ちいいこと全部つぎ込んでってぐらいいしか書いてないし、スペシャルセットだけの機能もあるらしいし……」

「説明書に合った通り、一週間前から健康管理してばっちりフルマラソンにでも大丈夫な身体に……フルマラソンってどれくらい激しいんだろう♡」

「それじゃあ、部屋を片付けてお湯の準備準備、んふふー」

「触手の素3つもある。これを全部いっぺんにいれるんだ。ぽちゃんとっ」

「わ、わわ…：ほんとに触手さんが部屋いっぱい広がってジャングルみたいに。防音もバッチリって書いてあったし、カーテン閉めてるから外からは見えないし、これで思いつきり触手さんと、ふふふふ…：ふぁ♡ 触手さんの匂いもすごい濃い♡ 触手さんに丸呑みされたみたい♡ こんなドキドキがとまらないよう」

「触手さんどんどん成長していつて…：ふぁぁぁ、見上げるぐらいおっきく…：これはもう触手様だ。わたし、触手様に全部捧げられちゃうんだ♡」

「ふう、あ…：ふぁっ…：はぁっ、はぁぁっ♡…：触手様♡ 触手様♡…：あ♡ 触手様の触手おちんちん♡ ちゅ♡ ちゅぽっ♡」

（わたし、触手おちんちんとキスするの好き♡ ねっとりとしたエッチな味の粘液、口の中に入ってくる触手の硬くて柔らかい感触だけでイっちゃう♡）

「ん、んっ♡…：じゅぷっ♡…：フー♡ フー♡…：ん、んふっ♡ んっん、んっ…：」

（下からクリトリスに触手様のっ♡ お尻からにゅるにゅるって這い上がって乳首にも♡ 敏感なところ♡ お汁もれちゃう♡）

「ふうん♡ んんんっ♡…：ん♡…：ん♡ ん♡ んっ♡」

（粘液刷り込んでるみたいに、触手様の先端でねぶられてっ♡ 軽くイっちゃってるのがちゅづいてる♡ 身体、触手様のおちんちん受け入れる準備されて♡ 私、オナニーで気持ちよくなるだけの穴になってく♡）

「んおっ♡ っ♡ んぶっ♡…：んーっ♡ んん…♡！？ っぷはぁっ、ん、んひゃっ♡」

「はぁ♡ はひっ♡……もうおまんこぐしょぐしょ♡ 触手様♡ 私の穴に♡ いっぱい触手おちんちくだしゃい！ 今日一日触手ちんぽでオナニーでとろとろに溶けさせてくしゃい！！」

「はぁ、はぁ！……あ、んぁ♡！！……フウ、フッ！……ふぐう♡……ハア、ハア♡ ハアッ♡！！……くうっ！ ん♡ ん♡……ん♡ ん♡ ふぁっ♡！！……あ、あっ、あ、あっ、あー♡」

「あ♡ 私好きなやつ♡ 先端に触手様が詰まって……ん♡ 横にもぶにぶにとんがりがいっぱい♡ 絶対中に入れたら気持ちいい触手様だ♡」

「んっ♡ んん♡ 入口っ♡……んぁっ♡ 触手様が広げて入って♡ んんっ♡……あひっ♡ つぶつぶがおまんこのお肉引きずって♡ しゅごい♡……ンぁ♡ ンふう♡」

「ふー、ふー♡ おなかの上から触手様の形♡ わかるう♡ 子宮っ、私の子宮ってここにあるんだ♡ お、おおん♡ 子宮の入口こんこんって叩いてりゅうっ♡」

「ふうっ♡！！……はふ、ん♡……ッうぁ！……ハア、ハア♡ ハアッ♡！！……くうっ！ ん♡ んふう♡！！……ごくっ、んぁ♡ ふぁっ♡！！……んっ、んぁっ、はう……ひぁ♡ ひっひい♡……あひっ♡ おっきな触手様、体中で感じての♡……んぁっ♡、んんんっ♡……フー、フウー♡ にゅかれてえっ♡ 入ってえっ♡……ひっ♡ んひい♡……まだ、最初なのに♡ しゃんかいこしゅっただけなのに♡ イくう♡ 触手様のふっとくてごりごりの触手チンポでイっちやうううう♡」

「おひっ♡ ひうひうっ♡……ぴしゅとん♡ しゅごしゅぎ♡ 触手オナニーしっちゃったら普通のオナニーにもどれない♡……はぁ、ふぁぁ♡……んひいひい♡」

「もっと、いっぱい出し入れ♡ してください♡……んくう♡ あん、ああ♡……触手様のおちんぼで気持ちいいのイぱいくだし♡」

「あ、あ♡ んああああ♡……ふっあ♡ んふっ♡……あ、あっ♡ あああ♡……ふんぎゅうっ♡ んぎ♡ んあ♡ ひう♡ ひう♡ ひう♡ ひう♡ ひう♡ ひうっ♡ んひいっ♡……♡♡♡……!!」

「ンンッ♡!? ビクビクって、触手様、私の中で震えて♡ おっきくなってる♡……んひうう♡ 奥に、あ♡ あああ♡ ぶびゅびゅびゅって♡ わたしもまたイクううううっ♡……♡♡♡……!!」

「はあ、はあ♡……あ、大丈夫れすよ触手様、んちゅ♡ 私、いっぱい触手様で気持ちよくしてもらって、今日のオナニーとっても楽しみにしてたんです……だから、もっとめちゃくちゃに♡ 私の身体壊れるぐらいについていいんですよ♡」

「んちゅ、れろ♡ んぱっ♡……触手様の触手おちんちんいっぱい♡ とっても硬くて……んあっ♡」

「んびゅ♡ んぶ♡ ん、んん♡……んーっ、んんっ♡……じゅびゅっ♡ じゅっぽじゅっぽ♡」

（みちゅあな攻めしゅきい♡ 頭の中も体の中もめちゃくちゃにされてるのに気持ちいいがどんどん押し寄せてえ♡ 心臓のドキドキが破裂するくらい大きいのもっともっと欲しくなっちゃう♡）

「んお♡ んんん♡……フーフウっ♡……っぷはあっ♡……んあ♡ れろ、れろっ♡ ……ちゅ、ちゅるるる♡…ハッ、ハアッ♡……いっぱいだし♡ んんっ♡ 触手様のせーしの匂い♡ 体中で感じさせて♡……んおお♡ んふっ♡」

（私、せーし袋になるの。いっぱい触手様に精液注いでもらって上からも下からもせーしでパンパンになってせーしの中で触手様にじゅぽじゅぽ触手ちんぽピストンしてもらって……）

「はあ、はあっ……じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶっ♡」

（触手様のちんぽ、喉の奥までせーしの匂い擦り付けてくれる触手チンポも、お尻の中にごりごり潜り込んであちゅいせーしいっぱい注いでくれるチンポも、おマンコの中いっぱいかわいがってついて来てくれるチンポもしゅき♡ ちんぽちんぽちんぽ触手様のちんぽ♡ いっぱいっばい）

「ぶぴあっ♡……ふあ、はあ、ふあっ♡ またイクウっ♡ 触手様にドロドロのせーしぶっかけられながら♡ イっちゃうううー♡♡♡……!!」

「あ、あひいっ♡……ん♡ 体中ドロドロ♡……触手様のせーしの匂い、んんっ♡……ぶぴゅどっぴゅどっ全部の穴から溢れて♡ あったかくて気持ちいい♡……はあ、はあ……んは……ふあ♡」

「はひい……もう次の触手様……え、ええっ!？ すっごく大きな袋が出来てる……ゼリーみたいな透明な丸いのがいっぱい入って、あ、もしかして卵？ ふあ♡ 私の手と同じぐらいの卵♡ ああ♡ 卵産みつけられるんだ♡ ハァ、ハァッ♡ しゅごい卵産みつけられるのに私、わたし♡ ドキドキがとまらない♡」

「フウ、フウウッ♡ こんなおっきな触手様の産卵管で♡ 私の子宮にいっぱい卵♡……ん♡ んううんっ♡ ひゃいって♡ おなかメモリって広げて入って来たあ♡」

「ふあっ♡!……んっ、んあっ、はう……っふあ、んんっ♡!……はあ♡ はう……イクうっ♡♡!……ん♡……あ、あっ、あ、あっ、あー♡……ふぐう♡……フウ、フッ!……ん♡ んん♡」

「んおっ♡ ふぎゅうっ♡……んっ、んーっ♡ 子宮の入口っ、ちゅるって♡ あ、開
いちゃった卵受け入れる準備できちゃったあ♡」

「はあ、はあ、はあ……あ♡ あ♡ ああ♡♡♡ くだ、触手様の卵植え付けるくだがぼ
こって膨らんでるのが来てる♡ 触手様の卵♡ 私の中に産み付けるために1っ個づつ
送ってきてるのわかる♡」

「んーっ♡ ううん♡……ハッ、ハアッ♡ おなか……んひいいっ♡ 広がって……フ、
フーッ♡ 卵産みつけられてるのに♡ 頭の中、気持ちいいのいっばい♡ ふみゃあ
♡」

「卵いっばい産み付けてえ♡ んはっ♡ んんんッ♡ ちゅぽんってゼリーみたいな柔ら
かい卵の感触♡ おなかにい♡ 子宮広げて卵入ってきてるう♡……しゅごい、しゅご
いいっ♡ もっといっばいうみつけて♡♡……!」

「ん♡ んあっ♡……はあ、ふああ♡……どんどん、お腹おつきくなってるう♡……
ふうっ♡ ふあ♡……ふあ♡……ふう♡ ふあっ♡……ふうんっ♡……フー♡ フー♡……
んあ♡」

「もう妊婦さんみたいに♡ これ、全部♡ 触手様の卵♡ みっちり産みつけられてるの
気持ちいいの♡……はあ、はあ♡」

「これ、オナニーだから♡……フー♡ フー♡ オナニーなのに私、妊娠♡ してるみ
たいに♡ 触手オナニーしゅごいよう♡」

「はあ、はう♡……ふー、ふーっ♡ んっんん♡……はあ、はあ、はあ、はあっ♡……
はう、んふっ♡……あん♡……ハー、ハー、ハーツ……くうっ、ん、んふう♡」

「ん、んんうん♡……あ、んっ♡……触手様の産卵管抜けちゃった……はあ、ふあ♡……
あ♡ やっぱり卵の次は種付け♡ 精液漬け♡ 触手様の触手チンポいっばいだあ♡……

先っぽからせーし臭い粘液びゅっびゅってして私を犯す気まんまんの触手チンポ♡……
ちゅ♡ 種付け、種付け♡ きてえ♡」

「ちゅちゅ、ちゅるっ♡……じゅるっ、じゅぽ、じゅぶぶ♡……んちゅ、ちゅ♡……はあ、
はあっ♡……ハア、ハア♡ ハアッ♡！……くうっ！」

「んひいっ♡ んお♡ んんっ♡♡ 卵でみっちり詰まったお腹、突き上げてえ♡ ん
おっ♡ んはあっ♡ ずりゅっ、ずっぷって♡ 触手チンポ♡ お♡ おはっ♡ 今まで
とじえんじえんちがう♡ 体喜んで♡ チンポ♡ 触手様のオチンポ様♡」

「ひゃんっ♡ 触手様おっぱいそんなに♡ 体中巻き付いて♡ あは、私オナホだ♡ 触
手様のオナホになっちゃった♡ ぎゅっぎゅっってお肉、握ってもらってチンポからせーし
搾り取るオナホ♡ ンひいっ♡ ぎっちぎっちに握られてるのに♡ 気持ちいいよう♡
もっど、もっどおちんぽ♡ 触手チンポください♡♡！！！」

「ハアッ、ハアッ♡！！ ふあッ♡♡！！……ん！ ふう♡！ ふうっ♡！！……はふ、
ん♡……ツうあ！……ハア、ハア♡ ハアッ♡！！……ふあっ♡！！……んっ、んあっ、
はう……っふあ、んんっ♡！！……はあ♡ はう……あ、あっ、あ、あっ、あー♡……ふ
ぐう♡……フウ、フッ！……ん♡ んん♡ ふあっ♡！！！」

「ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハアッ♡……んハアッ♡ ンオッ♡ ひっぐう♡ ひあっ♡
来る♡ 来る♡ 来る♡ 触手しゃまのせーし♡ 私の卵袋に♡ いっぱいそそいでえ
えええー♡♡♡！！！」

「ツうあ！……ハア、ハア♡ ハアッ♡！！……くうっ！ ん♡ んふう♡！！……
ふあっ♡！！……んっ、んあっ、はう……っふあ、んんっ♡！！！」

「ひきゅうっ♡ あちゅい♡ あ、ああ♡ あああ♡♡♡ どろどろのせーし♡ いっぱい、んああ♡ 卵にいっぱい注がれてるのわかる♡ んぷっ♡ 周りの触手様も一緒に♡ んちゅ♡ 受精♡ ああ♡ セーし中にいっぱい注がれてるう♡」

「ああ♡ ん♡……ふああ♡……はあ、はあ、はあっ♡……こんなにお腹の中、卵とせーしでいっぱいなのに気持ちよくてドキドキが止まらなくて、しゅごいしゅごい♡♡」

「はふ、ん♡……ッうあ！……ハア、ハアッ♡！……んふう♡！……ふう、ふう、ふんうっ……触手様の動き、とまっちゃって、ん♡ ちゅっ♡……子宮のなかの感触しかりわかるう……はーっ、はあーっ♡」

「ヒッ、ヒッ、フーっ♡……ヒッ、ヒッ、フーっ♡……ンヒイッ！？ ぷっちって♡ プチプチってはねっ♡ んおっ♡ んあっ♡……ん♡……あ、あっ、あ、あっ、あー♡……ふぐう♡……はふ、ん♡……ッうあ！……ハア、ハア♡ ハアッ♡！！」

「んひいっ♡ いっぱいっ、しきゅーのなかで卵、いっぱいはじけてっ♡ フッ、フッ、ふああああ♡……んん♡っ♡！？」

「あ、んああっ♡ で、でりゅうううううう！？ んひい♡♡♡……んひあっ♡♡♡」

「ハアッ♡ んん♡ あっ♡♡♡！？？」

「いぐうっ♡……ふうん♡ん♡っ♡！？ シフウッ♡！？ おなかっの、中からあっ♡ごりごり入口おしてえ♡ 産まれて♡ はひっ、はひっ、んひっ、んん♡ ひうっ！？」

「とまりやない！？ んん♡……んぐうっ♡ 触手産むのとまりやない！？ ん♡……あ、あっ、あ、あっ♡……ふぐう♡ ふあっ♡！！」

「気持ちいいのも、いきっぱなしになっちゃってるのも♡ とまりやないようっ！？」

「あひっ♡ 触手様っ、触手様あ♡ 触手赤ちゃん、触手ちゃん生むの気持ちいいいい♡♡♡」

「はあ、はあ！……あ、んあ♡！……ハアッ、ハアッ♡！！ ふあッ♡！！……ん！ふう♡！ ふうっ♡！……はふ、ん♡……ツうあ！……ハア、ハア♡ ハアッ♡！！……くうっ！ ん♡ んふう♡！……ん♡……あ、あっ、あ、あっ、あー♡……ハアッ、ハアッ♡！！」

「いっぱい産むの♡ はひ、んちゅ♡……ハア、ハアッ♡……こんなにおっきな触手ちゃんが、んおっ♡……おなかの中にいっぱい♡……ヒッ、ヒッ、フーっ♡……ヒッ、ヒッ、フーっ♡……どんどん出てきてりゅうっ♡……私のお腹、広げて♡ んはあっ♡ 触手赤ちゃん♡ 産んで♡ イッチャウののの……♡♡♡！！！！」

「ひゃあっ、んあああっ、プリプリ触手ちゃん、産んじゃうたびにお肉めくれてえ♡ あたまの中気持ちいいチカチカが増えてえ♡ いっぱい産むっ♡ はひいっ♡ ふひいっ♡……産むっ、産むっ♡ もっと、産まれてきもちよくしてくださいいい♡♡♡！！！！」

「あ、あっ、あ、あっ、あー♡……ふぐう♡……フウ、フッ！……ん♡ ん♡ ふあっ♡！！……ハアッ、ハアッ♡！！……はあ、はあっ……じえ、じえんぶ産んじやつたあ♡……はあ♡ はあ♡……床、触手ちゃんできっぱい」

「ひよあっ♡ ん♡……いきっぱなしで体中敏感になってる♡ んあっ♡……触手ちゃん！？ 足い！？ いま敏感なの！？ ひいっ、ひゃあっ、ん♡ んんっ♡」

「はあ、はあ！……あ、んあ♡！……ん♡ んん♡ ふあっ♡！……ハアッ、ハアッ♡！！ ふあッ♡♡！……ん！ ふう♡！ ふうっ♡！……ッうあ！……ハア、ハア♡ ハアッ♡！！」

「体ヌルヌルって這われるだけでえ♡ はあっ、はあっ♡……ふー、ふあー♡ ちょっとやすま……え、触手ちゃんがかくばって口おっきく開けて……まさか、いや、わたしのおっぱい……んあっ♡ ひああ♡ 両方同時にしゅいちゅいてええっ♡♡♡！！！」

「んひゃっ♡ んおっ♡……ふあっ、んふうっ♡ うそっ、私おっぱいでるうっ♡ ん♡ んんん♡♡ 触手の赤ちゃんにおっぱいしゅわれてえっ♡ イっちゃううううっっ！？」

「はあ、はあ♡……思ったよりもすぐ満足して……あ、もしかして、ぜ、ぜんぶ！？ 10匹以上！？……ふえっ！？ まさか触手様も……んぶっ！？」

（触手様に口、覆われてベロチューしながらおっぱいしゅわれてる♡ 触手様の粘液飲ませてもらって私、おっぱい・ミルクびゅっぴゅだす装置になっちゃってる♡）

（ん♡ こくっ、触手様のところところのお口美味しい、甘くて臭くて体熱くなってもっともっど）

「ジュル♡ ジュル♡ ジュゾッ♡……レロレロ♡……ジュポっ♡ ズチュ♡……ジュル♡ ジュチュルル♡」

「じゅるっ♡ んぶっ♡……ん、ごくっ♡ ん、んん♡……じゅぶっ♡ んんっ♡」

（んひっ♡ あそこお尻に、あ、ああ♡ また産み付けるんだ♡ 後半日、全部、卵産み付けられて、せーしいっぱい注いでもらって、赤ちゃん生んじゃっていいんだ♡）

「ジュポッ♡ じゅるるる♡……ちゅぷ♡ ちゅっちゅ♡……ジュルっ♡ ずるるる♡……ジュポッ♡ ズッポ♡」

「はー、はあ！……全部出ちゃった……子宮とお尻から、ん♡ 手よりもおっきな触手ちゃんがぶびゅびゅつつつて私の中から出ていくの頭真っ白になるぐらい気持ちよかったですあ……」

「はあ、ふあ♡……私のおまんこ触手様の形でぽっかりあいちゃって……ちゅ♡ もうこれじゃあ普通のじゃ満足できないよう♡」

「だから、いっぱい♡ もっと、いっぱい♡ 気持ちよくして♡」

「あはっ♡ 触手様も触手ちゃんもギンギンでまだまだいけるね♡ 時間いっぱいまで私の体おもちゃにして気持ちよくしてね♡」

「なれちゃったけど、なれちゃったけど…毎回段ボール返送してて、変な子って思われてるよね。うああああ…1日中やっちゃっのほしくないけど、今日なんて送り返す段ボール10箱もお願いしちゃった…」

「音がしないようにしっかり詰めちゃったけど、音聞こえてないよね。ないよね」

「半分ぐらいは触手様だったけどあとはオナニーして出した体液とか…はずかしすぎるよう!？」

「うう、でもポイント貰わないとお小遣いだけじゃ全然足りないし」

「でもすごかったあ…また、バイト代かお年玉で…1年に1回ぐらいかなあ？」

「うん、頑張って半年に1回ぐらい…ん♡ 思い出したらちょっと濡れちゃった。さっき送った分のポイントで基本セットぐらいならいいよね」